

はじめに



近年、異常気象による大規模な災害が多発するなど、地球温暖化が一因となっている現象が顕在化し、その状況は気候変動の域を超え、気候危機とも言われています。

こうした影響は、地球温暖化の進行とともに更に高まると考えられており、気候変動への対応は、国、地域を越えて取り組むべき喫緊の課題となっております。

また、昨今の世界情勢を受けて、資源価格の高騰や特定国への依存など、我が国のエネルギー安全保障をめぐる環境が大きく変化しており、消費エネルギーの抑制と再生可能エネルギーへの転換により、エネルギー自給率を高めていくことも必要となっております。

本市では、2011年（平成23年）3月に「函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、地球温暖化対策に取り組んでまいりましたが、地球温暖化問題を取り巻く状況が変化し、世界的に脱炭素に対する機運が高まるなか、私たち一人ひとりの意識と行動が問われており、気候変動問題を自らの問題と認識し、ライフスタイルやビジネススタイルの転換、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入など、気候変動への対策を加速させることに加え、その影響に備える適応に取り組むことも求められています。

こうしたことから、本市では、2022年（令和4年）2月にゼロカーボンシティの実現に向けて2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロをめざし各種施策を実施していくことを表明したところであり、その実現に向け、市民、事業者の皆さんと認識を共有し、地球温暖化対策をより一層推進するために、「第2次函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定いたしました。

本計画に基づき、それぞれの役割を認識するとともに、これまで以上に協力・連携し、一体となって取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、計画の策定にあたり、「函館市地球温暖化対策地域推進協議会地球温暖化対策実行計画検討部会」や「函館市環境審議会」でのご協議をはじめ、市議会や関係団体、そして多くの市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

2023年（令和5年）1月

函館市長 工藤 壽樹

目次

第1章 計画の背景と目的

1	地球温暖化とその影響	1
2	地球温暖化対策の動向	2
3	計画の目的	6
4	計画とSDGsの関連性	6

第2章 計画の基本的事項

1	計画の位置づけ	7
2	計画の期間等	8
3	計画の対象	8

第3章 函館市の概況と地球温暖化対策のロードマップ

1	函館市の概況	9
2	温室効果ガス排出量の現状と将来予測	14
3	削減目標と目標達成に向けたロードマップ	17

第4章 地球温暖化対策の取組

1	市民、事業者、市の役割	21
2	施策の体系	22
3	地球温暖化対策の取組（緩和策）	23
4	「はこだてエコライフ」の取組	35

第5章 気候変動の影響への適応策

1	適応策の必要性	41
2	気候の現状と将来予測	41
3	気候変動の影響と主な取組（適応策）	45

第6章 計画の推進体制・進行管理

1	計画の推進体制	47
2	計画の進行管理	47

参考資料

1	計画策定までの経緯	48
2	計画策定にあたっての市民意見等	49
3	市の主な施策	59
4	温室効果ガスの推計方法	66
5	用語集	68